

伊豆地域公共交通計画の令和6年度末時点における評価（案）

	指標	調査方法	R 5（参考）	達成状況・分析	評価	備考
数 値 指 標	公共交通（鉄道、路線バス、デマンド型交通、タクシー）の利用者数 → 34,690 千人/年以上	協議会調査	29,765 千人/年 →目標未達	30,276 千人/年 →目標未達	回復傾向にあるが、利用者数が未だに十分回復していない。	・JR 東日本は令和5年度の利用者数 ・バスの令和6年度利用者数は暫定値
	公共交通人口カバー率 → 80%以上	協議会調査	国勢調査（2025 年）等を踏まえて算出		—	
	新たな地域交通の導入件数 → 3 案件以上	協議会調査	3 案件（R5） →目標達成	5 案件（R6） →目標達成	成果が得られた。実装に向けた検討を引き続き進める。	・自動運転：沼津市※ ・乗合タクシー等：熱海市、伊東市、沼津市※ ・共助型交通：河津町、伊豆市
	観光交流客数 → 43,859 千人以上	協議会調査	36,931 千人（R4） →目標未達	39,003 千人（R5） →目標未達	回復傾向にあるが、観光需要が未だに十分回復していない。	
	旅行客の利用交通手段のうち公共交通の占める割合 → 35%以上	協議会調査	28.7%（R4） →目標未達	29.8%（R5） →目標未達	回復傾向にあるが、公共交通での観光需要が未だに十分回復していない。	
進 捗 管 理 指 標	運転手等の確保に関する取組の数 → 13 案件以上	協議会調査	3 案件（R5） →目標未達	3 案件（R6） →目標未達	目標に達していない。「物流の2024年問題」の影響も出てきており、更なる取組を推進する必要がある。	・就労イベントへの出展（沼津市） ・運転ボランティア育成事業（熱海市） ・第二種免許取得支援事業費補助金の交付（三島市）
	地域住民の利用促進に関する取組の数 → 13 案件以上	協議会調査	0 案件（R5） →目標未達	9 案件（R6） →目標未達	目標に達していない。今年度も、県全域において小学生向けバス無料イベントを開催予定。	・バスの乗り方教室等（伊豆の国市、伊豆市、沼津市、南伊豆町等） ・回数券等の助成（熱海市、伊東市、河津町、西伊豆町、下田市）

※2種類の地域交通の導入に取り組んでいるが、1市町1案件のため1案件とカウントした

議案2の補足資料

	公共交通の年間利用者数(千人)					
	基準	計画1年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目
	R1(2019)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度	R8(2026)年度	R9(2027)年度
合計	35,763	29,765	30,276	0	0	0
鉄道合計	20,874	18,115	18,973	0	0	0
JR(熱海駅、伊東駅)	6,604	5,759	6,334	0	0	0
伊豆急行線	4,609	3,851	4,069	0	0	0
伊豆箱根鉄道駿豆線	9,660	8,506	8,570	0	0	0
路線バス合計	11,148	8,574	8,215	0	0	0
東海自動車	7,715	5,919	5,643	0	0	0
伊豆箱根バス	2,595	1,938	1,945	0	0	0
富士急シティバス	838	716	626	0	0	0
デマンド型交通合計	4	6	6	0	0	0
沼津市	1.89	4.13	4.26	0.00	0.00	0.00
伊東市	0.53	0.14	0.15	0.00	0.00	0.00
伊豆の国市	1.32	1.85	1.47	0.00	0.00	0.00
三島市	0.00	0.08	0.63	0.00	0.00	0.00
タクシー合計	3,737	3,070	3,083	0	0	0